



# 小島友実の あの馬の **STORY**



馬房で佇むアースオブフェイム。飼葉食いも良好だそうです

た。思い入れの深い馬で、初仔が生まれたと聞いてすぐこの馬の仔に会いにこぎ、もう15回位見に行つてゐる。アースナウンドを駆馬したものな感じでトキのハリが力強く、それに父のタイプメジヤーが重なつてこの印象。素晴らしい馬です。

昨年の一歳馬募集の際、このように熱く語っていた和田調教師。しかし、育成を進める中で「鳴り」が判明。3月2日に手術が行われました。

幸いにも術後の経過は順調で、10月2日に美浦へ入厩。デビュー回目の調整が進んでしまいました。

「ゲート試験は一回で合格。普通キヤンタから行きつづが良く、和製マリ外みたいな感じです。走りにも余裕

た。思い入れの深い馬ですから、初仔が生まれたと聞いてすぐJLNの方に会いにこぎ、わざ15回位見に行つてこねです。アースカラーブを黒馬にしたばかりな感じで、トキのハリが力強く、それに父のダイワメジーヤーが重なってこんな品貌。素晴らしい馬です」

6日の東京競馬場でデビュー。クリスマスの惜しき2着でしたが、今後が大きいに楽しみになる内容でした。

ウブド、アースセラフ、アースネクターなど、和田正道調教師が海外のトレーニングセールで見出してきた馬達が確実に結果を出しはじめる事は皆さんもご存知ですね。その和田厩舎アースシリーズの初代馬となったアースサウンドの初仔「アースオーファイム」が11月

グリーンファーム愛馬会ではお馴染みの、アーリスシリーズ。中でも、アーリスサ

ヒップルードがあつたので、初戦からチヤンスは十分だと悟つて、ました

を覚えてるんだ。だからそれを思  
えど、まだ我慢出来て、あすね。無い

味はバランスが凄く良くて、体が大き  
いわりに動きが俊敏です。初戦後もヒ  
ンヒンが高くならないので、ほんと  
いいですね」

アースオブフェイム

和田講師に「この馬の良さが後の可能性を伺いました。

「タイフューニャーの」「ハート」ハーフ  
ハーフのペースを引き継いでいる事  
が最大の長所ですね。適距離は1400  
0~14400メートル。持つハーフもアッセ

最速上がりを使えたのは収穫でしたね。今後に繋がるコースでした」  
11月8日。和田厩舎へ行き、アースオーブハイムに会つてきました。(アード鳴)の手術をした経過がある馬だけに普段の様子も含めて担当の高橋正和調教厩務員にお話を伺いました。

う。母は左回りで結果を出しましたが、この馬は美浦のウッド(右回り)の走りも上手でやかいで右回りも対応できると思いました。母は行きたがる顔を見せてハーネスホールドが難しう馬でしたので、息子にはそれをおひいきで出せばいいのかが大事になつてあらわね。(今後

馬をして成長していく力れば、短距離競馬で活躍できる馬だと期待している。馬場順調に初勝利を挙げられれば、少しづつ調整していくのです。  
「アーベ、フランデの一心の期待を背負って、アースオブフェイム。母に迎いつき追い越せで、大きな名前を得て活躍を期待したいです。

いつき追い越せで、大きな名声を得て、活躍を期待したいですね。

## profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜 19:00~20:30)、ラジオNIKKI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。